



## 建築技術と経営支援ノウハウを掛け合わせ 新たな市場へ挑戦

株式会社永本建設 代表取締役 永本 光希氏

### ゼロからのスタートも 自分の強みを武器に

半世紀にわたり公共工事や戸建て住宅の新築・リフォームに携わってきた福岡市南区日佐の(株)永本建設。会社を率いるのは、3代目、代表取締役の永本光希さんです。

永本建設は、1970年に永本さんの祖父が個人事業として創業。永本さんの父や母、叔父など家族総出で慌ただしい毎日が続いていたそうです。そうした中小企業の内情を目の当たりにしてきた永本さんは、社会人になり経営支援の道を選びます。「建築の仕事ではなく、家族のみんなをサポートできることはないだろうか考えたのがきっかけ」だったと言います。

永本さんは税理士事務所等で勤めた

あと、福岡県内の商工会で中小企業をサポートする仕事に従事。その後中小企業診断士の資格をとり、本格的に独立の準備をしていた折に、当時の代表取締役だった叔父が突然の病に倒れ、事業の承継について選択を迫られることとなりました。「それまでバックオフィス業務や一部現場業務を手伝うことはあったのですが、事業を引き継ぐことを考えたことはありませんでした。叔父から『会社は自分の代で廃業してもいい。やりたいことをやりなさい』と言葉をかけられたことを機に、これまで経営支援に取り組んできた自分が、一番身近にある家業の廃業すら防げないことに対し、本当にそれで良いのかと悩み考え抜いた末、祖父や父、叔父が守ってきた事業を受け継ぐ決意をしました」

とはいえ、建築の仕事は初めての永本

### 【プロフィール】

福岡県生まれ。税理士事務所等に勤務したのち、「より経営に近いところでサポートしたい」と福岡県内の商工会で中小企業の経営支援に取り組む。その後、中小企業診断士の資格も取得。2022年に永本建設の代表取締役に就任。

さん。当時37歳。建築現場のことが分からず不安は大きかったものの「知識も経験もほとんどない自分に何ができるのかと考え、経営支援を行ってきた自分にしか生み出せない強みがあるんじゃないかと気持ちを切り替えることができました」と振り返ります。

### 伴走型の建築サービスで オンリーワンの事業に

中小企業の経営支援に従事してきた自らの経験や知識を活かせないか。そこで永本さんが考案したのが、「ワンストップ型店舗工事サービス」です。店舗経営を検討している事業者を対象に店舗の新築やリフォームにとどまらず、事業計画作成支援などを含めた伴走型のサポートを



1



2



3



4

1 ワンストップ型店舗工事サービスのリーフレットは、創業相談で出会った若手デザイナーの作品。「こういう出会いがあるのも楽しい」と永本さん

3 現場でのタブレット使用など、社内のDX化も推進している永本さん。「一気に変えるのではなく、できることから少しずつ変えていくのがポイント」

2 建築と経営支援、名刺は2種類。ふたつ揃えると街並みなどのイラストが現れる、アイデアあふれるデザイン。「親しみやすい建築屋さん」と思っていたかための取組みのひとつ

4 建築も経営支援もお客様の夢をカタチにするお手伝いという目的は同じ。「考えることは多く大変ですが、お客様の夢の実現をサポートする仕事は大好きです」とにっこり

行う新たな建築サービスとして注目を集めています。会社のスローガンである「夢をカタチにお手伝い」を合言葉にしたユニークな取り組みです。

具体的には店舗の新築やリフォームに関する要望だけではなく、将来のビジョンをヒアリングし、事業計画を策定。事業計画に基づいて店舗の具体的なデザインやプランを作成し、施工を行います。「例えば飲食店を開きたいという方は厨房機器などの性能やコストについては詳しいものの、店舗自体の新築やリフォームの費用が妥当かどうかまではわからないもの。そこを私たちがフォローすることで、スタートアップに際してのコスト削減が見込めますし、それができれば創業後の経営も安定しやすくなります。建物だけではなく資金繰りの計画や事業計画のお手伝いができるのは、経営支援を経験してきた私だからできること」と自信を見せます。

「建物をつくるだけでなく、事業が軌道に乗るまで一緒に走っていくことで、創業を諦めていた人の後押しにもなるのではないのでしょうか。これまで当社が培ってきた建築技術と私個人が培ってきた経営支援ノウハウの両方を活かすことで、より多くのお客様の夢をカタチにできるサー

ビスだと感じています」と永本さん。

さらに永本さんは、金融機関の融資や国の補助金活用などについてもアドバイスを行っています。「商工会議所などの相談機関を活用することも大切です。経営者は考えるべきことがたくさんあり、一人で考え抜いて解決できることもあります。だれかに相談することで自分の考えを整理でき、思いもよらない解決の糸口を見つけ出せることもあるのではないのでしょうか。当社も建物に関して、そんな相談先のひとつになればと思っています」

代表取締役となった現在でも、永本さんは創業相談など中小企業診断士としての活動を続けています。「経営の相談から建築の仕事につながるなど、2つの仕事がお互いに作用することは少なくありません。二足の草鞋というよりは、1.5足の草鞋で楽しみながら取り組んでいます」と笑顔を見せます。

### 地域になくはならない 建築屋さんを目指して

永本さんが目指すのは会社規模の拡大ではなく「地域になくはならない建築屋さん」。「どんなに時代が変わっても、建

物は人々の生活を支える基盤であり、私たちの暮らしに欠かせない存在です。一方で、建設業界は就業者数の減少など、時代の変化とともに大きな転換期を迎えています。当社では、時代に合わせて変えるべきものは変え、守るべきものは守り抜くという視点で、デジタル技術の導入や従業員が働きやすい環境の整備など、小さなことから一つひとつ積み重ね、経営基盤の強化に取り組んでいます。これらの地道な活動によって、地域の方々がいつでも建物の相談を気軽にできる身近な建築屋さんになれるよう、まずは、ワンストップ型店舗工事サービスを広げ、地域づくりに貢献していきたいと思っています」と意気込みます。

取材日：8月21日



株式会社永本建設

〒811-1313 福岡市南区日佐3-32-24

TEL:092-581-7766

<https://nagamoto-const.com/>